

(4) 類似事業の有無

- ・類似事業なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	75,847	陰圧個室等の整備に要する経費に対し助成
合計	75,847	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

- ・国の予算概算要求資料において、新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関等における陰圧化等の施設の整備が対象となっている。

(2) 事業主体及びその妥当性

- ・陰圧個室等を整備することで、医療従事者が安心して医療活動を行うことができ、また医療従事者への院内感染を防止することは、県民の安全にもつながるため、県が補助を行うことは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 新型コロナウイルス感染症の今後の感染拡大局面も見据え、入院患者等に対する医療体制及び医療従事者の安全を確保するため、陰圧個室等を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

医療機関の計画に基づく施設整備に対する補助であるため、目標の設定ができない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	入院患者を収容する医療機関において、陰圧化による個室の整備を行うことは、医療提供体制確保の観点からも極めて重要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	計画通りの体制が確保されている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	補助事業者において、適正に実施されている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルスの感染拡大についての予測が困難であり、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。

(次年度の方向性)

--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	